

## 札幌モーターショー2016 に出展

(社会連携推進センター)

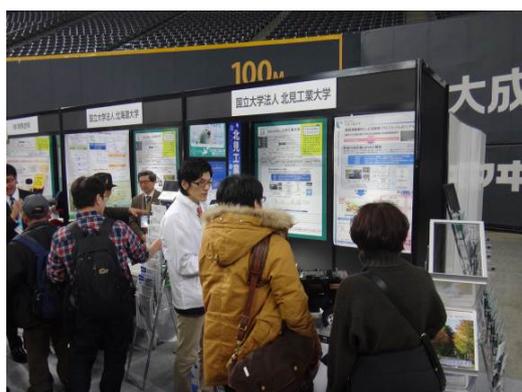
1月22日(金)から24日(日)の3日間、札幌ドームを会場に札幌モーターショー2016が開催され、本学は「北海道自動車産業ゾーン」に出展しました。

札幌モーターショーは、平成24年から隔年で開催されており、本学は当初から出展しています。北海道自動車産業ゾーンは、北海道と独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部の主催で設けられており、北海道の自動車関連企業・団体の技術を紹介することを目的としています。今回は、本学の他、北海道大学や公的試験研究機関、北海道内企業により18ブースを設け、それぞれが取り組む自動車関連技術の紹介を行いました。

本学からは、大学の紹介とともに、社会環境工学科の川村彰教授と富山和也助教が取り組む「車両挙動解析による路面プロフ

ファイルのリアルタイム計測」の開発技術について、研究の発展に向けたマッチングを目的に展示を行いました。また、北海道自動車産業ゾーンで行われた「子どもクイズステージ」において、本学マネジメント工学コースの学生が、本学が取り組む自動車に関連する研究を基にしたクイズを出題しました。

会場には、3日間で10万6千人以上の方が来場し、北海道自動車産業ゾーンにも絶え間なく多くの方の来場がありました。本学のブースには、自動車の技術に興味を持つ企業の方はもちろんのこと、同窓生や在学生、さらには大学受験を控える高校生とその家族も訪れました。本学の教育や研究状況について知っていただく等、技術広報だけでなく大学広報としても価値の高い場となりました。



本学ブースでの技術展示



子ども向けクイズステージ